☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂

江別ユネスコ協会事務局だより　2016年8月1日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内（担当辻本☎381-1069）

「板かるた」はどこから来たか？・・・・・学習会を開催します

江別ユネスコ協会は、2016年9月3日（土）14時から、野幌公民館の1階・団体活動室において、市民学習会を開催します。講師は北海道史研究協議会会員の河野民雄さんで、これまで研究してきた「板かるた」の文化について、蘊蓄（うんちく）を傾けて頂きます。

戦後、娯楽の少なかった北海道で大流行した「板かるた」は「下の句かるた」とも呼ばれ、永い冬の間、雪の下でウツウツとしていた北海道人の「心の憂さ」を晴らすにはモッテコイの室内遊戯でした。読み札は下の句しか読まず、取り札は丈夫な板で作った、あの無骨な遊びは北海道独特のものでしょうか？津軽海峡を渡って本州から来たものでしょうか？それとも江戸時代にエゾ地の警備のため赴任した武士たちが、余暇を慰めるために製作したものでしょうか。いろいろな説を引き比べて、河野さんが解説します。北海道を開拓した屯田兵との関連についてもお聞きしましょう。

◎市民学習会　テーマ：「板かるた」はどこから来たか？―屯田兵と北海道文化―

講師：河野　民雄　さん（北海道屯田倶楽部理事、元・清田高校教諭）

９月３日（土）午後２時より、野幌公民館１階・団体活動室にて開催。

イスタンブールの「第４０回世界遺産委員会」は途中で終了！

今年の「第40回世界遺産委員会」はトルコのイスタンブールで、7月10日から20日までの日程で開会されましたが、クーデターの影響を受けて7月17日でいったん終了することになり、残った案件の審議は10月にパリで行うという異例の「夏・秋・分散開催」となりました。しかし、危機遺産リストや世界遺産リストの更新は終了しています。

今回の委員会では、新たに21件の世界遺産が登録され、これで世界遺産の総数は1052件となりました。内訳は、文化遺産814件、自然遺産203件、複合遺産35件です。

日本政府は、今年の登録をめざして「長崎の教会群とキリスト教関連資産」を一度は推薦しましたが、現地調査を担当したICOMOS（イコモス＝国際記念物遺跡会議）の中間報告の中で「推薦内容を再構成したほうが良い」というアドバイスを受けたため、今回は推薦を取り下げました。

そのため日本単独での今年の推薦物件はゼロとなりましたが、フランスが「ル・コルビュジエの建築作品」を、世界7か国17資産の保有国を代表して世界遺産委員会へ申請し承認されたので、東京上野の「国立西洋美術館」が、その構成資産の一つとして、今回、世界遺産に登録されました。20年越しの申請で根気よくねばったフランスの見識とリーダーシップに感謝したいと思います。

「長崎の教会群とキリスト教関連資産」は2018年に登録か？

文部科学大臣と文化庁長官の諮問機関である文化審議会は、7月25日の会議で「長崎の教会群とキリスト教関連資産」を、2018年の世界遺産登録をめざす候補遺産にきめました。順調に行くと日本政府は2017年2月までに正式な推薦書をユネスコに提出し、同年9月ころICOMOS（国際記念物遺跡会議）の現地調査を改めて受けることになります。

ICOMOSは2018年5月ころにユネスコへ勧告を行い、同年7月ころ開催される第42回世界遺産委員会（開催地未定）の場で、登録の是非が審議されることになりそうです。この遺産は2015年1月に正式推薦され、2016年2月に推薦を取り下げたばかりなので、競合している他の遺産候補関係者等から、直前変更や取下げ後の順位問題などを含め、いろいろな異論が出されています。